

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
「みんなの安全基地」		2026 年 2 月 13 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	・スペースを考慮し、利用定員を設定している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	0	・利用児童と同数の職員を配置するよう努めている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2		・障害特性に応じた環境調整に今後も工夫が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・生活空間は清潔に保たれ、子どもが落ち着いて心地よく過ごせる環境となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・状況に応じて、個別に過ごせる場所を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	7		・職員の勤務日時が様々であるため、全体が参画出来る方法が必要である。 ・情報共有や業務改善に繋がる話し合いの機会が設けられていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・保護者向け評価表で意見を収集しているが、業務改善への活用方法は工夫が必要。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	4		・支援者間で日常的な情報共有は行っているものの、職員の意見を業務改善に十分活かしているとは言えない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		・第三者による外部評価の実施状況が不明である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	7		・研修受講や施設内研修の機会は職員間で十分に共有されているとは言えない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・HP等で公表されているが周知の工夫が必要である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・個々の状況に応じた計画が作成されている。アセスメントの手順や視点の共有が今後の課題。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2	・頻度が多くなく、職員全体での共通理解を深める機会を増やしていくべき	・放課後等デイサービス計画の共有について時間的制約から十分とは言えず、共通理解を図る工夫が必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	・共有されているが、各自での確認が必要	・計画は作成されているが支援者間での共有や支援への反映に課題あり。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	・日々の行動観察を中心に子どもの状況を把握しているが、フォーマルなアセスメントの活用には課題がある。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1		・計画内容がガイドラインの各支援の視点を踏まえて設定されているが、十分に確認できていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	6		・チームで、となると課題が残る。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	2		・活動プログラムが固定化しないような工夫について十分に把握できていない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	1	・日常は個別活動が中心であるが、行事等では集団活動で子どもの状況に応じた支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2	・以前より改善はされているが、連携については課題が多い。	・支援開始前の打ち合わせはなく、主にその場の状況を見ながら支援を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	6	・必ずではないが、共有する時間が取れない日もある。	・支援後に記録を残し、所在職員間で簡単な共有は行っている。職員間での振り返りや共有の仕組み作りが課題。 ・勤務時間の問題もあり、振り返りは個々で行われることが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1		・日々の支援内容を記録し、個人レベルで振り返りを行っている。記録を活用した検証、改善の仕組み作りが課題である
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	2		・モニタリングや計画の見直しの実施状況について十分に把握できておらず、確認が必要である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	1	・複数の基本活動を組み合わせた支援を行っている。地域交流の内容について今後の検討が必要である。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	・おやつや遊びを自分で選べるようにし、こどもの自己選択を尊重した支援を行っている。関わり方の工夫を今後も検討する。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		・十分に把握できておらず、確認が必要。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2		・利用開始時には関係機関からの情報を把握し支援に活かしている。関係機関との継続的な連携体制の構築が課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	1		・学校との連携状況の把握が課題である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3		・就学前施設との連携状況の把握が課題。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	4		・事業所開設から年数が浅く、卒業・以降の事例が少なく、支援内容の引継ぎについては今後の課題である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6		・児童発達支援センターとの連携や助言、研修を受ける機会が十分に確保されていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	9		・現時点では十分とは言えない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4		・協議会等への参加状況の把握が課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	1		・管理者が保護者対応を実施している。その情報共有の体制作りが課題である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6		・家族支援に関する取り組みの充実が課題である。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1		・HP等での公表が行われている。その内容や方法についての共有が課題である。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1		・利用開始時に保護者の意向を確認している。意向確認を継続的に行う仕組み作りが課題である。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	1		・計画の説明および同意を得ているのかの状況を十分に把握していない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・管理者が保護者からの相談に電話等で応じ、必要な助言や支援を行っている。相談対応を組織的に行う体制づくりが課題である。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	10		・行事の際、兄弟が参加できる機会が設けられている。保護者同士や兄弟同士が継続的に交流できる機会の設定が十分とは言えない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	2		・苦情受付の方法や対応体制について、保護者にわかりやすく周知する仕組みが必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	5		・HPを開設し、事業所の基本情報を発信しているが、情報発信の方法や内容の充実が課題である。 ・即時的な連絡手段はあるが、HPやSNSでの発信はない。予定などは連絡できている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1	・個人情報は鍵付きの棚で管理し、使用後の施錠を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	1		・障害特性に応じた意思疎通や情報伝達の方法について職員間で共有確認する仕組みが求められる。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9		・地域との関係作りが課題である。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	9		・各種マニュアルの整備状況や周知、訓練の実施について確認共有が必要。 ・マニュアル作成の必要性を感じる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	10		・災害時対応の周知と訓練が必要。 ・訓練を定期的にすべきかと。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・各個人票に情報を記載し、変更時には保護者からの連絡を受けている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1		・対応や医師の指示書の確認共有が必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	7		・安全面への配慮は見られるが、安全管理に関する計画や研修が必要。 ・一定程度は達成できているが、研修や具体的な措置についての周知が十分でない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	5		・家族への周知方法について確認と共有が必要である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	3		・気づきを記録するためのノートが設置されているが、その気づきを共有し、再発防止に繋げる仕組み作りが課題である。 ・個別には検討しているものの、職員全体で意見を出し合う機会があまりない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	7		・虐待防止に関する職員研修の機会を確保する必要がある。 ・研修の機会がない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	6		・身体拘束の方針や周知体制の整備が課題である。 ・その場での判断が求められることが多く、職員によって対応が異なることもあるため、一度全体で指針を確認する機会が必要。